

日本画材を使って、 団扇に絵を描こう！

うちわは日本で古くから使われている、夏の代表的な風物です。日本画家・鐮木清方は、うちわを手に持つ女性を作品に描いているほか、うちわそのものにも絵を描きました。展示室で清方の筆遣いをじっくり鑑賞した後に、実際にうちわに絵を描いてみませんか？

今回は、日本画材の角顔彩を使って、団扇に絵を描きます。

当日は、お好みの描きたいものの写真やスケッチなどをご持参ください。

また、日本画材は全て当館でご用意しております。

日 時：令和7年（2025）

6月22日（日） 13時～16時30分

（①13時～14時30分 ②15時～16時30分）

会 場：鎌倉市鐮木清方記念美術館 ホール

対 象：どなたでもご参加いただけます（事前申込）

料 金：1,200円（おひとり1回につき。入館料別途）

お申し込み・問い合わせ先：鎌倉市鐮木清方記念美術館

※6月1日（日）午前9時より お申込み受付開始

（ご参加の時間帯①か②をお選びください）

画材はすべて当館でご用意いたします。

電 話：0467-23-6405

アクセス：JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車、
東口から小町通りを北に徒歩7分左折。
西口からは徒歩約10分。

鎌倉市鐮木清方記念美術館

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-5-25

Tel:0467-23-6405 Fax:0467-23-6407

Mail: kaburaki-museum@kamakura-arts.or.jp

<https://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki>

